

は　じ　め　に

平成3年度に実施した当研究所の業務を取りまとめ、所報第32号としてお届けします。ささやかな小冊子ですが、ご高覧いただき、ご批判、ご叱声賜れば幸いです。

科学技術の進歩と経済の発展により私たちの生活水準は飛躍的に向上しましたが、エイズに代表される感染症の発生、トリクロロエチレン等による地下水汚染及び地球規模の環境問題の発生など、私たちの生活環境は汚染が進み、深刻な状況になりつつあります。

本県においても、中海や湖山池などの閉鎖性水域の富栄養化、水質悪化に対する汚濁機構の解明、県内産の農産物の残留農薬問題など早急に解決しなければならない研究課題があり、当研究所の果たす役割は、益々、重要となっております。

この様な状況の中で、平成3年度はガスクロマトグラフ質量分析計の導入、庁舎の一部補修を図って参りましたが、庁舎は老朽化し、狭隘となり整備はままならず、庁舎の新設を考えねばならない時が来ていると考えております。

県民の健康の増進と生活環境の保全のために、衛生環境行政の中核機関として、来るべき新しい時代に取り残されないように所員一同頑張っていきたいと思っておりますので、一層のご指導、ご鞭撻をお願いします。

平成4年11月

鳥取県衛生研究所

所長　石　田　一　成